

平成 30 年度

ふたばこども園自己評価



認定こども園
佐賀女子短期大学付属
ふたばこども園

1. 学校教育目標

「遊びは学び」という乳幼児教育の理念を基本とし、子どもの主体的、創造的活動を促すとともに集団生活をとおして、思いやりの心や社会性を身につけ、生きる力の基礎を培う

2. 求める子どもの姿

やさしく	かしく	たくましく
○ 感性豊かな子	○ 創造性豊かな子	○ 進んで運動する子
○ 協同して遊び互いに尊重する子	○ 知的好奇心に満ちた子	○ 食事を楽しむことができる子

3. 教育方針

【青文字】は新「認定こども園教育・保育要領」に示された、幼児期の終わりまでに育てたい10の姿

- ①体験活動や探究活動を重視し、感性を高め知的発達をうながす。 【思考力の芽生え】
- ②目標を定めて挑戦し、充実感や満足感、そして達成感を味わうことができるようにする。 【自立心】
- ③あいさつや決まりを守ることなど集団生活に必要な生活習慣が身につくようにする。 【道徳性・規範意識の芽生え】
- ④身の回りのものや自然の事物と親しむ中で、生命の神秘や不思議さ、美しさを感じ、自然を大事にしようとする心を育てる。 【自然との関わり・生命尊重】
- ⑤遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字などに親しみ、それらに興味や関心、感覚を持つようにする。 【数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚】
- ⑥豊かな言葉や表現を身に付け、言葉による伝えあいを楽しむようにする。 【言葉による伝え合い】
- ⑦食事を楽しみ、健康や望ましい食生活習慣を身につけるようにする。 【健康な心と体】
- ⑧日常生活・集団生活の中で言葉を通して人間関係を深めるようにする。 【協同性】
- ⑨地域とのつながりを深め、豊かな体験ができるようにする。 【社会生活との関わり】
- ⑩心を動かす出来事などに触れさせ、感性を働かせ、表現する喜びを味わわせる。 【豊かな感性と表現】

4. 評定

評定の基準	A とてもそう思う・ややそう思うの合計が75%以上	関係者評価の判定基準	A 園の自己評価を 納得できる
	B とてもそう思う・ややそう思うの合計が60%以上75%未満		B // だいたい納得できる
	C とてもそう思う・ややそう思うの合計が50%以上60%未満		C // あまり納得できない
	D とてもそう思う・ややそう思うの合計が50%未満		D // 納得できない

5. 保護者の園評価 …… 資料1-1・資料1-2・資料1-3・資料3-1・資料3-2

6. 教職員の自己評価 …… 資料2 ・ 資料3-2

5 保護者の園評価アンケート集計【0・1・2歳児】

(上段：人数・下段：割合)

資料1-1

NO	評価項目 (観点)	評価内容	評価の段階					評価の段階		
			①そう思う	②やや そう思う	③あまり そう思わない	④そう 思わない	⑤分から ない	そう思う ①+②	そう思わない ③+④	分からない ⑤
1	教育・保育 の目標	先生方は「遊びは学び」という乳幼児教育の理念に基づき、子どもの主体性を大切に、遊びを通じた教育・保育を実践していると思う	25	16	0	0	2	41	0	2
			58.1%	37.2%	0.0%	0.0%	4.7%	95.3%	0.0%	4.7%
2	意欲	先生方は教育・保育活動に意欲的に取り組んでいると思う	29	13	0	0	1	42	0	1
			67.4%	30.2%	0.0%	0.0%	2.3%	97.7%	0.0%	2.3%
3	研究・ 研修	園や先生方は、教育・保育に関する研修を積極的に行っていると思う	20	14	2	0	7	34	2	7
			46.5%	32.6%	4.7%	0.0%	16.3%	79.1%	4.7%	16.3%
4	組織力	先生方は、子ども一人一人が安心して過ごせるように、職員同士で連携したり、協力したりしていると思う	22	16	4	0	1	38	4	1
			51.2%	37.2%	9.3%	0.0%	2.3%	88.4%	9.3%	2.3%
5	安全・ 環境	先生方は、はう、立つ、歩くなどの行動が自由にとれる、安全な環境を整えていると思う	27	12	2	0	2	39	2	2
			62.8%	27.9%	4.7%	0.0%	4.7%	90.7%	4.7%	4.7%
6	指導の工夫・改善	先生方は、子ども一人一人が興味・関心に応じた遊びができるよう、遊びの環境を工夫していると思う	27	13	1	0	2	40	1	2
			62.8%	30.2%	2.3%	0.0%	4.7%	93.0%	2.3%	4.7%
7	道徳性の指導	先生方は、安心して仲良く生活できるように、ゆったりとやさしく応えていると思う。	28	13	2	0	0	41	2	0
			65.1%	30.2%	4.7%	0.0%	0.0%	95.3%	4.7%	0.0%
8	生活習慣の指導	先生方は、やさしく声をかけたり、スキンシップを取ったりしながら子どもたちに対応していると思う	30	12	1	0	0	42	1	0
			69.8%	27.9%	2.3%	0.0%	0.0%	97.7%	2.3%	0.0%
9	信頼性・連携	先生方は、家庭との連絡や連携を取るとともに、気軽に相談できるようにしていると思う	25	16	1	1	0	41	2	0
			58.1%	37.2%	2.3%	2.3%	0.0%	95.3%	4.7%	0.0%
10	園の公開	園や先生方は、保育参観や保育参加、園の行事、ホームページやお便り等を通して、園の「見える化」に取り組んでいると思う	20	23	0	0	0	43	0	0
			46.5%	53.5%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
11	身近な人々 とのかわり	園や先生方は、短大や高校と連携したり、身のまわりの園外に出かける保育を工夫したりして、園児によりよい教育・保育を提供するようにしていると思う	30	7	0	0	6	37	0	6
			69.8%	16.3%	0.0%	0.0%	14.0%	86.0%	0.0%	14.0%
12	体力の向上	先生方は、外気に触れたり、戸外遊びを行ったりする機会を多く取り入れていると思う	34	8	1	0	0	42	1	0
			79.1%	18.6%	2.3%	0.0%	0.0%	97.7%	2.3%	0.0%
13	食育の推進	先生方は、授乳や給食について家庭と連携を取り、ゆったりと関わりながら飲食させていると思う	24	13	1	1	4	37	2	4
			55.8%	30.2%	2.3%	2.3%	9.3%	86.0%	4.7%	9.3%

5 保護者の園評価アンケート集計【3歳以上児】

(上段：人数・下段：割合)

資料1-2

NO	評価項目 (観点)	評価内容	評価の段階					評価の段階		
			①そう思う	②やや そう思う	③あまり そう思わない	④そう思わ ない	⑤分から ない	そう思う ①+②	そう思わない ③+④	分からない ⑤
1	教育・保育 の目標	先生方は「遊びは学び」という乳幼児教育の理念に基づき、子どもの主体性を大切にし、遊びを通じた教育・保育を実践していると思う	106	27	4	0	2	133	4	2
			76.3%	19.4%	2.9%	0.0%	1.4%	95.7%	2.9%	1.4%
2	意欲	先生方は教育・保育活動に意欲的に取り組んでいると思う	104	30	3	0	2	134	3	2
			74.8%	21.6%	2.2%	0.0%	1.4%	96.4%	2.2%	1.4%
3	研究・研修	園や先生方は、教育・保育に関する研修を積極的に行っていると思う	96	33	3	0	7	129	3	7
			69.1%	23.7%	2.2%	0.0%	5.0%	92.8%	2.2%	5.0%
4	組織力	先生方は、子どもの保育や指導、支援などについて、職員同士で連携したり協力したりしていると思う	82	39	9	0	9	121	9	9
			59.0%	28.1%	6.5%	0.0%	6.5%	87.1%	6.5%	6.5%
5	安全・環境	園や先生方は、施設・設備の安全に留意するとともに、保育室などの清掃、整理・整頓などの環境美化を行っていると思う	80	48	8	1	2	128	9	2
			57.6%	34.5%	5.8%	0.7%	1.4%	92.1%	6.5%	1.4%
6	指導の工夫・改善	先生方は、子ども一人一人が興味・関心に応じた遊びができるよう、遊びの環境や指導の方法を工夫していると思う	93	39	4	0	3	132	4	3
			66.9%	28.1%	2.9%	0.0%	2.2%	95.0%	2.9%	2.2%
7	道徳性の指導	先生方は、してよいこと、悪いことなどの規範（ルール）や自分も友達も大切するなど、道徳性の芽生えを育てていると思う	81	45	6	1	6	126	7	6
			58.3%	32.4%	4.3%	0.7%	4.3%	90.6%	5.0%	4.3%
8	生活習慣の指導	先生方は、自分のことは自分でする、場に応じたあいさつをするなど、基本的な生活習慣が身に付くようにかかわっていると思う	81	46	7	0	5	127	7	5
			58.3%	33.1%	5.0%	0.0%	3.6%	91.4%	5.0%	3.6%
9	信頼性・連携	先生方は、家庭との連絡や情報の提供を行い、気軽に相談できる体制を取っていると思う	73	49	12	3	2	122	15	2
			52.5%	35.3%	8.6%	2.2%	1.4%	87.8%	10.8%	1.4%
10	園の公開	園や先生方は、保育参観や保育参加、園の行事、保護者面談、ホームページやお便り等を通して、園の「見える化」に取り組んでいると思う	81	46	10	1	1	127	11	1
			58.3%	33.1%	7.2%	0.7%	0.7%	91.4%	7.9%	0.7%
11	身近な人々とのかかわり	園や先生方は、短大や高校と連携したり、地域の公園に出かける園外保育を工夫したりして、園児によりよい教育・保育を提供するようにしていると思う	100	35	2	1	1	135	3	1
			71.9%	25.2%	1.4%	0.7%	0.7%	97.1%	2.2%	0.7%
12	体力の向上	先生方は、体を十分に動かして遊ぶ体験を、多く取り入れていると思う	90	38	7	1	3	128	8	3
			64.7%	27.3%	5.0%	0.7%	2.2%	92.1%	5.8%	2.2%
13	食育の推進	先生方は、「食」に対する指導の大切さを認識し、園児が給食や食べものに興味・関心を持つように指導していると思う	84	42	4	2	7	126	6	7
			60.4%	30.2%	2.9%	1.4%	5.0%	90.6%	4.3%	5.0%
年長の のみ	幼小の接続	園や先生方は、小学校生活に憧れや期待を持つよう指導していると思う (年長のみ回答)	21	15	4	0	4	36	4	4
			47.7%	34.1%	9.1%	0.0%	9.1%	81.8%	9.1%	9.1%

5 保護者の園評価アンケート集計【総合】

(上段：人数・下段：割合)

資料1-3

0・1・2歳児評定

NO	評価項目 (観点)	評価の段階		
		そう思う ①+②	そう思わない ③+④	分からない⑤
1	教育・保育の目標	41	0	2
		95.3%	0.0%	4.7%
2	意欲	42	0	1
		97.7%	0.0%	2.3%
3	研究・研修	34	2	7
		79.1%	4.7%	16.3%
4	組織力	38	4	1
		88.4%	9.3%	2.3%
5	安全・環境	39	2	2
		90.7%	4.7%	4.7%
6	指導の工夫・改善	40	1	2
		93.0%	2.3%	4.7%
7	道徳性の指導	41	2	0
		95.3%	4.7%	0.0%
8	生活習慣の指導	42	1	0
		97.7%	2.3%	0.0%
9	信頼性・連携	41	2	0
		95.3%	4.7%	0.0%
10	園の公開	43	0	0
		100.0%	0.0%	0.0%
11	身近な人々とのかわり	37	0	6
		86.0%	0.0%	14.0%
12	体力の向上	42	1	0
		97.7%	2.3%	0.0%
13	食育の推進	37	2	4
		86.0%	4.7%	9.3%

3歳以上児評定

評価の段階		
そう思う ①+②	そう思わない ③+④	分からない⑤
133	4	2
95.7%	2.9%	1.4%
134	3	2
96.4%	2.2%	1.4%
129	3	7
92.8%	2.2%	5.0%
121	9	9
87.1%	6.5%	6.5%
128	9	2
92.1%	6.5%	1.4%
132	4	3
95.0%	2.9%	2.2%
126	7	6
90.6%	5.0%	4.3%
127	7	5
91.4%	5.0%	3.6%
122	15	2
87.8%	10.8%	1.4%
127	11	1
91.4%	7.9%	0.7%
135	3	1
97.1%	2.2%	0.7%
128	8	3
92.1%	5.8%	2.2%
126	6	7
90.6%	4.3%	5.0%

総合評定

評価の段階		
そう思う ①+②	そう思わない ③+④	分からない⑤
174	4	4
95.6%	2.2%	2.2%
176	3	3
96.7%	1.6%	1.6%
163	5	14
89.6%	2.7%	7.7%
159	13	10
87.4%	7.1%	5.5%
167	11	4
91.8%	6.0%	2.2%
172	5	5
94.5%	2.7%	2.7%
167	9	6
91.8%	4.9%	3.3%
169	8	5
92.9%	4.4%	2.7%
163	17	2
89.6%	9.3%	1.1%
170	11	1
93.4%	6.0%	0.5%
172	3	7
94.5%	1.6%	3.8%
170	9	3
93.4%	4.9%	1.6%
163	8	11
89.6%	4.4%	6.0%

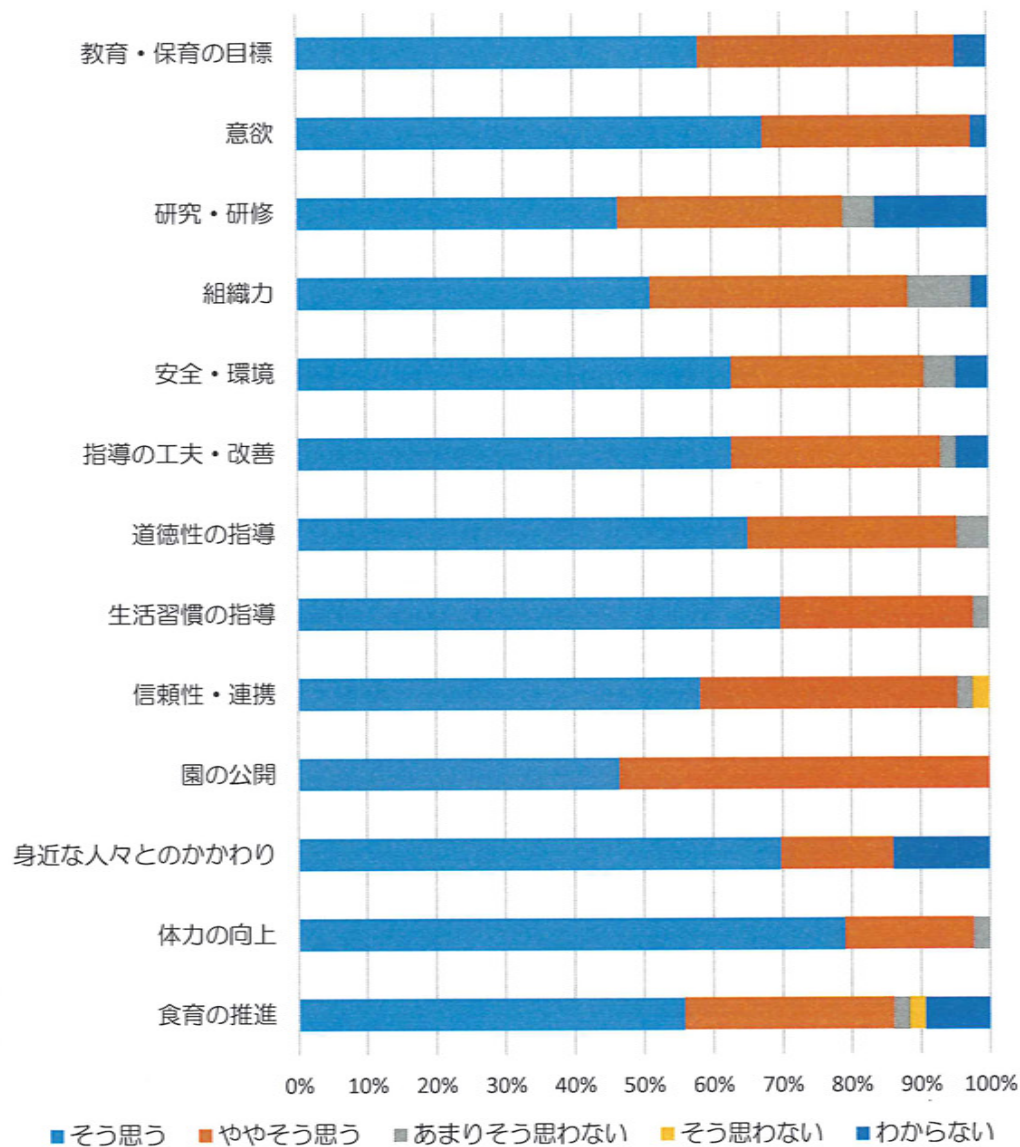
6 教職員の自己評価集計

(上段：人数・下段：割合)

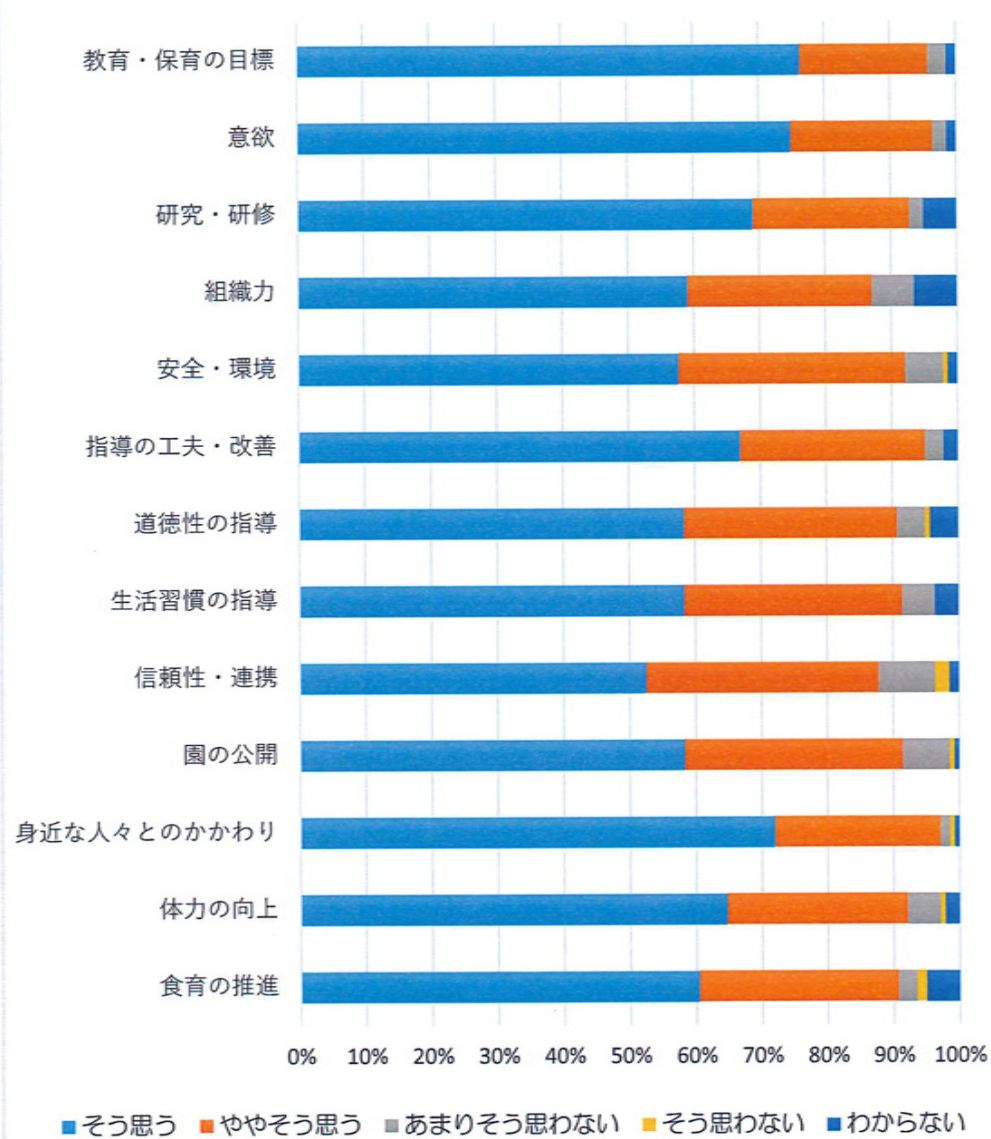
資料 2

NO	評価の観点	評価内容	評価の段階				評価の段階	
			①そう思う	②やや そう思う	③あまり そう思わない	④そう思わ ない	そう思う ①+②	そう思わない ③+④
1	教育・保育の 目標	「遊びは学び」という乳幼児教育の理念や本園の目標に基づき、子どもの主体性を大切に し、遊びを通じた教育・保育を実践している。	10 41.7%	14 58.3%			24 100.0%	0 0.0%
2	意欲	一人一人の子どもに温かく接し、意欲的に教育・保育活動に取り組んでいる。	17 70.8%	7 29.2%			24 100.0%	0 0.0%
3	研究・研修	園内・園外での研究や研修に積極的に参加し、保育者としての資質向上に努めている。	8 33.3%	16 66.7%			24 100.0%	0 0.0%
4	組織力	教育・保育や学年学級経営、学年の課題等について、学年や先生方で話し合ったり、協力 したりしている。	6 25.0%	17 70.8%	1 4.2%		23 95.8%	1 4.2%
5	安全・環境	施設・設備の安全について定期的に点検するとともに、園庭やホール、保育室などの清掃、 整理・整頓などに配慮している。	4 16.7%	20 83.3%			24 100.0%	0 0.0%
6	指導の工夫・ 改善	子どもたちが主体的な活動や豊かな体験ができるように、遊びの環境や指導の工夫・改善 を行っている。	6 25.0%	18 75.0%			24 100.0%	0 0.0%
7	道徳性の指導	してよいこと、悪いことなどの規範や自分も友達も大切にするなど、道徳性や規範意識を 育てるように努めている。	14 58.3%	10 41.7%			24 100.0%	0 0.0%
8	生活習慣指導	挨拶をする、きまりを守るなど基本的な生活習慣が身に付くように取り組んでいる。	15 62.5%	9 37.5%			24 100.0%	0 0.0%
9	信頼性・連携	子どもたちが安心して自分らしさを発揮したり、保護者も気軽に相談したりできるよう な、信頼関係を作るように努力している。	14 58.3%	10 41.7%			24 100.0%	0 0.0%
10	園の公開	保護者参加行事や保育参観、保育参加、ホームページやお便り等を通して、園を公開する 努力をしている。	7 29.2%	17 70.8%			24 100.0%	0 0.0%
11	身近な人々との かかわり	短大や高校と連携したり、地域の公園に出かける園外保育を工夫したりして、子どもたち によりよい教育・保育を提供するように努めている	11 45.8%	11 45.8%	2 8.3%		22 91.7%	2 8.3%
12	体力の向上	屋外の遊びを重視し、体を十分に動かして遊ぶ体験を意図的、計画的に取り入れている。	14 58.3%	9 37.5%	1 4.2%		23 95.8%	1 4.2%
13	食育の推進	子どもたちが望ましい食習慣を身に付けるように、給食指導等を行ったり、家庭と連携を 図ったりするように努力している。	7 29.2%	17 70.8%			24 100.0%	0 0.0%
14	幼小の接続	年長では、小学校生活に期待や憧れを持たせる機会を設けたり、「10の姿」を意識した 教育・保育に取り組んだりしている。(年長児担当・主幹のみ)	1 20.0%	4 80.0%			5 100.0%	0 0.0%

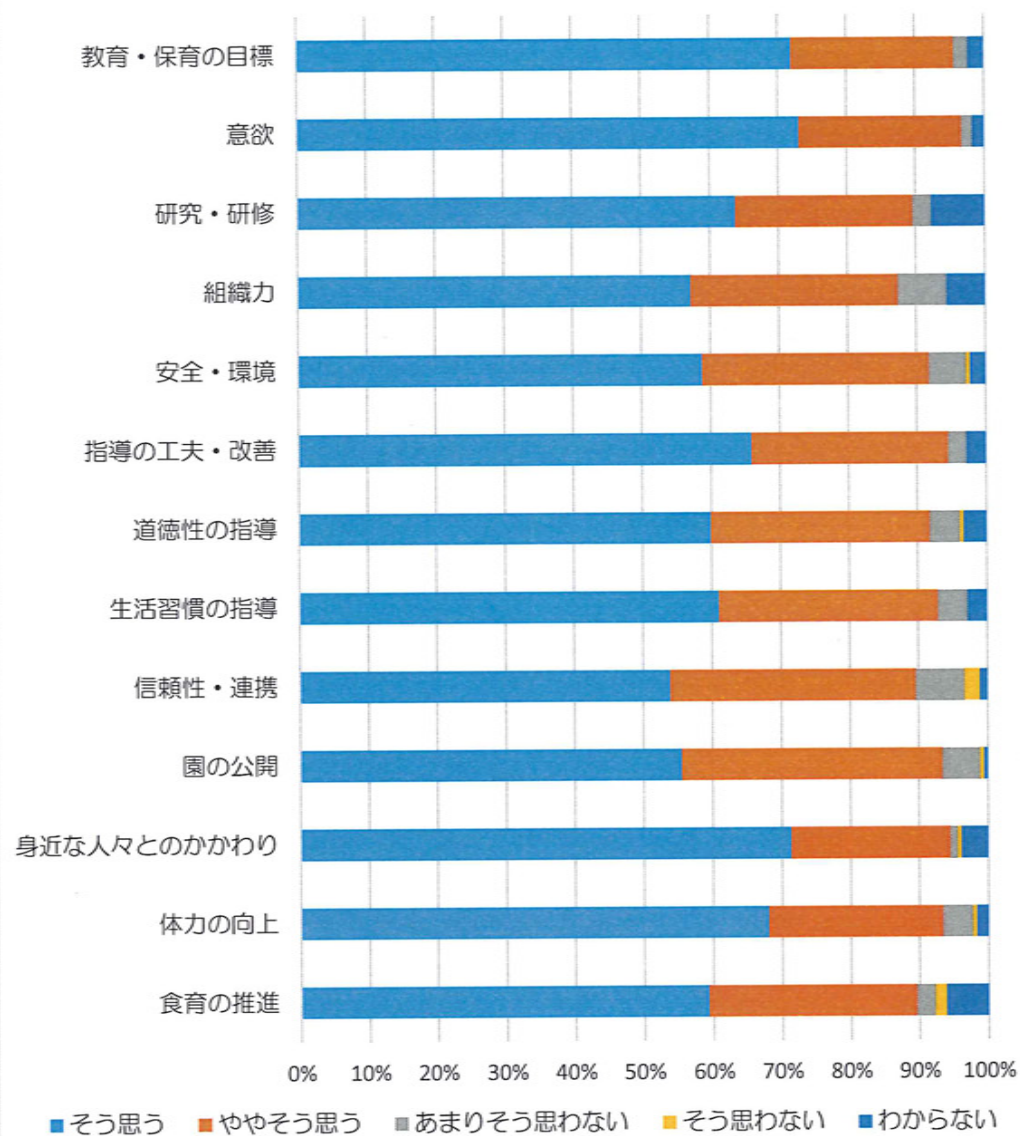
保護者（0・1・2歳児）の園評価集計グラフ



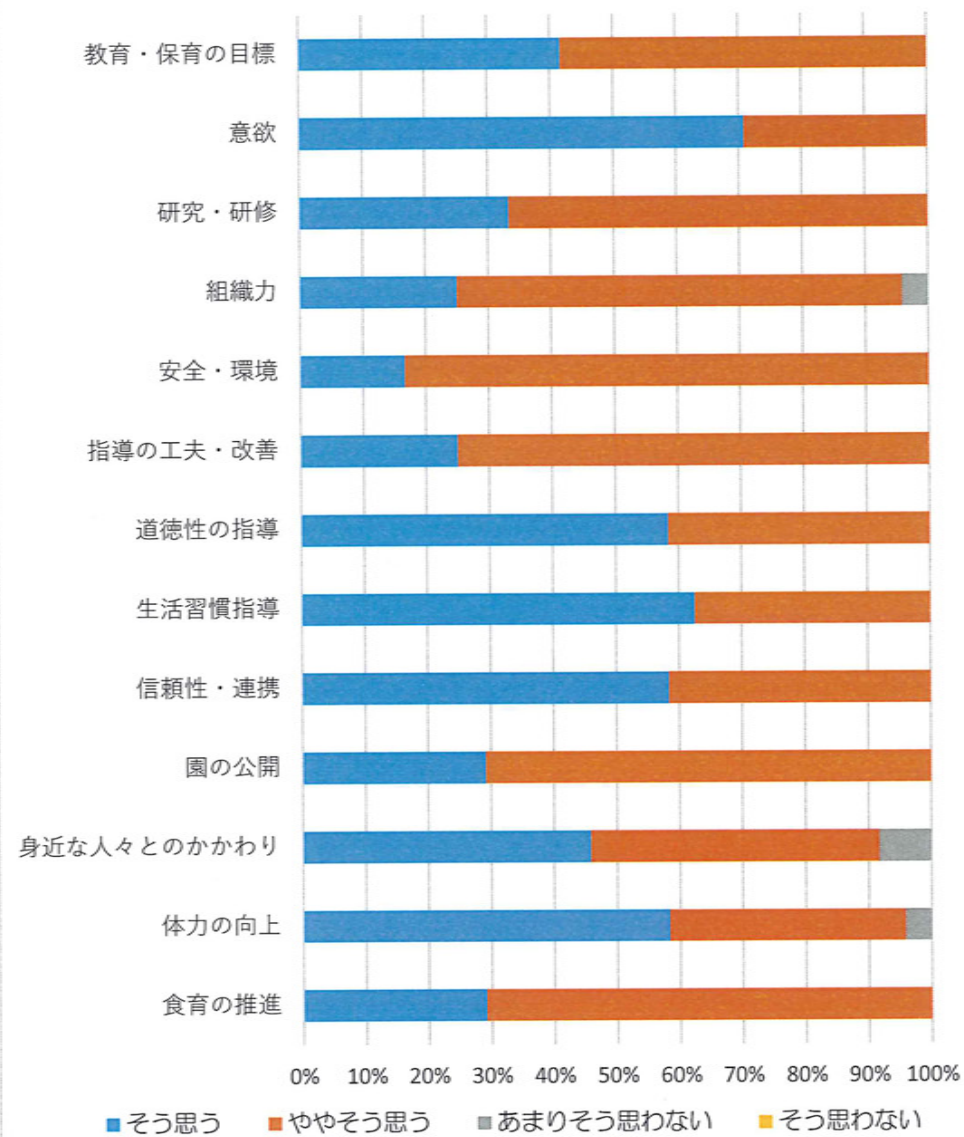
保護者(3歳以上児)の園評価集計グラフ



保護者の園評価集計グラフ（総計）



職員の自己評価集計グラフ



7 園評価及び自己評価の総合評定

NO	評価項目 (観点)	保護者の園評価			職員の自己評価		評 定			評定の気づき	関係者評価委員判定	
		そう思う	そう 思わない	分 か ら な い	そう思う	そう 思わない	保護者	職員	総合			
1	教育・保育の 目標	174	4	4	24	0	A	A	A	今年度初めての調査項目であるが、保護者、職員とも高い評定であった。職員は「そう思う」が100%であり、目標をしっかり意識した教育・保育の実践を心がけているようである。	A	
		95.6%	2.2%	2.2%	100.0%	0.0%						
2	意欲	176	3	3	24	0	A	A	A	保護者・職員ともに高い評価である。先生方の教育・保育の姿勢や取り組みが評価されたと思う。職員も全員が意欲を持って取り組んでいる。今後もその姿勢で臨んで欲しい。	A	
		96.7%	1.6%	1.6%	100.0%	0.0%						
3	研究・研修	163	5	14	24	0	A	A	A	職員は昨年以上に意欲的に研修に励んだと感じている。また、保護者にも研修について御協力を願ったり、公表をしたりしてきた。ただ、未満児保護者には研修の実践が見えにくかったようである。	A	課題意識を持って、主体的に研修に取り組んで欲しい
		89.6%	2.7%	7.7%	100.0%	0.0%						
4	組織力	159	13	10	23	1	A	A	A	保護者には見えにくい調査項目かもしれない。「組織力」を職員の目標として設定し、よりよい組織で教育・保育に取り組むように励んでいる。職員の1名は、自身が少し努力不足だったと謙虚に評価したものである。	A	
		87.4%	7.1%	5.5%	95.8%	4.2%						
5	安全・環境	167	11	4	24	0	A	A	A	安全点検を奇数月に定期的に行っている。また、環境の整備が子どもたちの安心・安全やよりよい教育・保育につながるということを、職員が意識しているようである。	A	
		91.8%	6.0%	2.2%	100.0%	0.0%						
6	指導の工夫 ・改善	172	5	5	24	0	A	A	A	園内外での研修の成果を生かしながら、日々の教育・保育に取り組んでいると思う。その様子を多くの保護者の方に評価していただいたと思う。	A	
		94.5%	2.7%	2.7%	100.0%	0.0%						
7	道徳性の指導	167	9	6	24	0	A	A	A	保護者と職員は若干評定に差はあるものの、両者ともに高い評価である。職員が道徳性を育てようと、教育・保育の場で努力しているようである。	A	
		91.8%	4.9%	3.3%	100.0%	0.0%						
8	生活習慣 の指導	169	8	5	24	0	A	A	A	生活習慣を身に付けさせることは、幼児期において大切なことであると思う。ただ、保護者・家庭との連携としては難しいところがある。今後も保護者と連携をしっかりと取りながら進めていきたい。	A	
		92.9%	4.4%	2.7%	100.0%	0.0%						
9	信頼性 ・連携	163	17	2	24	0	A	A	A	職員は保護者との連携や信頼関係と作るために努力はしていると思われる。ただ、保護者との評定に若干の差異がある。できるだけ保護者との直接会話を重視しながら信頼関係等を構築していきたい。	A	保護者の望みと職員の意識の違いがあるのでは？
		89.6%	9.3%	1.1%	100.0%	0.0%						
10	園の公開	170	11	1	24	0	A	A	A	大きな園行事がない月に、保育参観と保育参加を実施した。また、園だよりや学級だより、ホームページ、はなまる連絡帳などでこまめに園を公開した。ホームページの更新は昨年比3倍以上となった。	A	
		93.4%	6.0%	0.5%	100.0%	0.0%						
11	身近な人々 とのかかわり	172	3	7	22	2	A	A	A	短大や近隣の公園、公共施設等へ園外保育に頻繁に出かけ、様々な体験をさせるように工夫していた。職員の2名は子育てサロンへの関わりができなかったことを反省していた。	A	
		94.5%	1.6%	3.8%	91.7%	8.3%						
12	体力の向上	170	9	3	23	1	A	A	A	子どもたちは戸外で、元気に十分過ぎるくらいに身体を動かして遊んでいると思う。職員も一緒によく走り回り、戸外での遊びを推奨している。	A	
		93.4%	4.9%	1.6%	95.8%	4.2%						
13	食育の推進	163	8	11	24	0	A	A	A	昨年と同じように評定は高いが、職員と保護者では若干の差が見られる。見えにくいところがあり、評定しにくいと思うが、食育の推進を見える化するよう に努力していきたい。	A	
		89.6%	4.4%	6.0%	100.0%	0.0%						

8. 総合評価

①	本年度より3歳未満児の保護者にもアンケートにご協力いただいた。また、アンケートの回収は182/240で回収率75.8%であった。昨年度より0.3%向上したものの、目標値である80%には届かなかった。回収率の内訳は、3歳未満児が43/50で86.0%、3歳以上児が139/190で73.2%であった。ただ、年少3歳児学年の回収率は91%と非常に高く、多くの保護者の方にご協力をいただいた。評価の観点については、「教育・保育の目標」に関する内容の1項目を増やして実施した。
②	保護者の評価は13項目中9項目において「そう思う」が90%以上の評定をいただいた。それ以外の「研究・研修」、「組織力」、「信頼性・連携」、「食育の推進」の4項目においても、きわめて90%に近い評定で、調査全項目において「A」評価であった。
③	職員には自身のことを振り返る自己評価を実施した。評価全項目で「そう思う」の評定が90%を超え、全項目において「A」評定だった。特に、「組織力」、「身近な人々とのかわり」、「体力の向上」の3項目を除いた10項目で「そう思う」の評定が100%であり、職員の教育・保育に対する前向きな姿勢を感じた。
④	保護者の評定が90%を超えていない「研究・研修」、「組織力」、「信頼性・連携」、「食育の推進」の4項目中、「研究・研修」、「信頼性・連携」、「食育の推進」は、職員100%の評定に対し、保護者の評定とは若干の差異が見られた。また、その4項目中の「研究・研修」、「信頼性・連携」、「食育の推進」の3項目は、「分からない」の評定が10%を超えている。「分からない」が多い分「そう思う」の評定も低くなっている可能性も考えられる。
⑤	昨年に引き続き、保護者からは13項目すべてで「A」評定をいただいた。また、全項目で「とてもそう思う」が50%以上という高い評定であった。職員にとって大変ありがたく、励みになる評定結果で、職員モチベーションを大きく向上させるものである。今後も保護者のご期待を裏切らないように研鑽して欲しい。ただ、高い評定であっても、「研究・研修」、「組織力」、「信頼性・連携」、「食育の推進」などの項目においては、「そう思わない」や「分からない」の評定もあり、真摯に受け止め、今後の課題としていきたい。

9. 次年度への課題・改善策

①	研究・研修	<ul style="list-style-type: none"> ○ 昨年度同様に園内研修、園外研修の充実を図った。子どもたちによりよい教育・保育を提供するためには、保育士の資質や指導力の向上は欠かせない。職員もそうした意識を持って研修に励んでいる。 園内研修では、研修組織として6部会を作り、常勤職員はいずれかの部会に所属し、研修を推進した。今年度も新教育・保育要領の勉強会を定期的実施し、短大の先生を講師として、研鑽を積んだ。また、全担任が研究保育ドキュメンテーション研修のいずれかを実践し、外部講師をお招きし研究会を開いて研修を深めた。園内研修の取り組みは全国で発表し、日本教育新聞にも取り上げられるなど高い評価を受けた。園外研修にも多くの職員を派遣した。近隣の他園を参観し、環境や保育のよいところを参考にした。 ○ 保護者の方には、園だよりやホームページ等で研修の様子を知らせたり、研修へのご協力を要請したりした。また、公開保育を2回も実施することができ、PTA役員及び父親の会からの応援をいただいた。ただこうした様子が保護者に十分に伝わっていないところがあり、「分からない」の評定が若干高くなった。研修結果の「見える化」などを工夫していきたい。 ○ 次年度も園内研修や園外研修での研鑽を続けていきたい。新教育・保育要領に基づく教育・保育のあり方を学ぶために全職員揃っての定期的な勉強会は続けたい。また、先進的な園の視察や全国の研究大会等に派遣し、視野を広げる研修を積みませたい。
②	組織力	<ul style="list-style-type: none"> ○ 職員の目標として、「組織力」と「つなぐ」の2つを掲げている。これは、組織力が強い集団は優れた教育・保育を提供できるし、よりよい組織運営ができるという思いからである。学年集団も主幹やチーフを中心にチームワークが取りやすいように組織を構築した。職員もチームとしての意識を高め、協力し合う姿が多く見られるようになってきた。また、学年担任全員で行う学年会を毎週実施したり、主幹・チーフ会を頻繁に行ったりして、意思疎通や共通理解を得るようにしている。 ただ、保護者にはなかなか見えにくいところがあることも否めない。今後評定項目として設定する場合は、質問内容等を具体的にするなど工夫が必要かもしれない。また組織力の「見える化」をどうしたらいいのか検討したい。
③	信頼性 連携	<ul style="list-style-type: none"> ○ この項目は、3歳以上児保護者の評定が低かった。15/139(10.8%)の保護者が「そう思わない」と評定した。これに対し職員の自己評価は、「そう思う」が100%であり、評定に差異が見られた。職員にはできるだけ直接会話をすることで保護者と連携を取るよう促している。機会あるごとに保護者と直接会話をしたり電話連絡をしたりしているようだが、保護者の方にとってはそうでない方もおられたのかもしれない。また、ホームページの更新を頻繁に行い、園の情報提供に努めた。更新回数は昨年度より3倍以上に増えた。 ○ 保護者との連携を図り、信頼関係を築くことは、子どもを教育・保育する上で重要な要素である。今後も情報提供や連絡・連携の方法を工夫し、保護者の方との信頼関係を築きたい。

④	食育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ この項目は、「分からない」の割合が11%（11/182）の項目である。ただ、「そう思う」の評定は89.6%（163/182）と90%に近い評定である。職員も「そう思う」100%の評定である。職員は給食指導や米、サツマイモ、じゃがいも、ピーマン等の栽培活動を通して食育指導を計画的に行っている。また、毎月の教育・保育の目標に食育指導の目標を設定して、指導に取り組んでいる。 ○ この項目も見えづらいところがある調査項目であるかもしれない。指導の実際や食育の計画等について「見える化」を工夫したい。
⑤	保護者の園評価	<p>次年度も回答率80%以上を目指しアンケートの周知を早くから行うなど工夫したい。また、調査内容の簡潔化や評定しやすい内容等に改善・工夫をしていきたい。今年度は3歳未満児保護者の方に初めて園の評価に参加いただいたが、回収率も86%と高くありがたかった。</p>
⑥	職員の自己評価	<p>次年度も保護者の方から高い評価がいただけるとともに、自身の自己評価で自信を持って「A」評定ができるよう、一人一人が教育・保育に自信と自覚を持って取り組んで欲しい。また、保育教諭としての資質の向上や「チームふたば」の意識を持って、全職員が子ども一人一人の健やかな育ちや保護者の方の子育て支援等に積極的に関わるようにしていきたい。</p>

10. 「総合評価」「次年度への課題・改善策」に対する評価委員の意見

- 「研究・研修」、「組織力」については、さらに計画的に進めて欲しい。また、それが具体的に見えるようにしたい。（学識経験者委員）
- 教育・保育の質の向上は、先生方の研修・研究の質の向上に比例する。「チームふたば」のますますの団結力を期待する（学識経験者委員）
- 新しい子育て支援制度で義務づけられた、子育て支援（子育てサロン、地域連携など）の評価項目を入れて欲しい。（学識経験者委員）
- 更なる質の向上のため、評価基準を厳格にしてもよいのでは（学識経験者委員）
- 見える化だけでなく、本質的なカリキュラムの改善に目を向けてもいいのでは？（学識経験者委員）
- 園内研修でやっていること、その頻度、6部会の取り組みなど、先生方が何の勉強会をしているか詳しく知らせていく。（保護者代表委員）
- 教育新聞に掲載されたこと、公開保育の実践、その実績の素晴らしさは伝わりにくいかも。どう伝えていくか工夫していく。（保護者代表委員）
- 話しかけにくい先生と様子をいつも教えてくれる先生の差、保護者も先生も、話しかけるのが得意・不得意があるかもしれない。（保護者代表委員）
- 「組織力」の見える化は難しい課題だと思う。園の取り組みの発信や園での活動を保護者に見てもらうなども一策だと思う。（地域代表委員）
- 「信頼・連携」については、ちょっとした行き違いで連携が取れず、不信感が生まれることがある。きめ細かな声かけや連携をとるしかない。（地域代表委員）

11. 今回の「園の自己評価」全般を通しての感想や意見・課題など

- 0・1・2歳児の評価項目と3歳以上児の評価項目が、発達段階を考慮したものになっている。（学識経験者委員）
- 新しい「認定こども園教育・保育要領」を踏まえた言語の整合性ができ、一段ずつ研修の成果を感じる。（学識経験者委員）
- 昨年度からのPDCAサイクルが見える評価にしたい。（学識経験者委員）
- 「組織力」は見えにくい。特に園バス利用の保護者には組織力を感じるチャンスは少ない。（保護者代表委員）
- 全体的にどの項目も昨年度よりいい結果が出ている。園が目標に応じて具体的な方針を明確にして取り組まれた成果が伺える。職員の研修や研究、組織力の向上の賜と思われる。全職員が子どもたちのために一つの方向に向かって努力している姿が目に見える。（地域代表委員）
- 年々保護者の要望が多様多様になり、先生方の多忙化は進む一方だと思いますが、園内、園外研修・研究を充実させられているのには敬服します。先生方が研鑽を積み、自信を持って教育・保育に望んでおられる結果が、保護者さんが安心して子どもさんを園に任せられる所以ではないかと思う。（地域代表委員）

12.関係者評価委員会による評価を終えて

- 関係者評価委員の方々から、園の自己評価は概ね妥当の「A」評価をいただいた。保護者及び関係者委員の方から高い評価をいただいたことは、職員にとっても園にとっても大変ありがたいことであるとともに、今後の励みになる。「そう思わない」という評価は真摯に受け取り、高い評価をもらえるように取り組んでいきたい。
- 今年度は、昨年度からの課題であった、未満児（0・1・2歳児）保護者の評価アンケートを実施できた。園の全保護者対象となる園の評価ができた。
- 「総合評価」や「次年度の課題、改善策」について関係者委員の皆様からたくさんの御意見をいただいた。大変ありがたい御意見は更なる教育・保育の糧になるよう、また改善すべき御意見は、今後の課題として職員一丸となり対応・改善に努力していきたい。
- 評価アンケートの回収率80%以上を目標に、アンケートの内容や回収方法等の工夫を図りたい。
- 保育参観などで子どもの育ちを親に伝えることはこれから重要になる。今後も保育参観と保育参加を計画的に実施し、園の「見える化」を図りたい。
- 職員研修の時間確保が難しい状況ではあるが、教育・保育の質の向上のために、保護者の協力等を得ながら研修を続けていきたい。また、公開保育等も継続していきたい。
- 関係者評価委員の皆様から、口頭や文書により忌憚のない御意見や感想、助言をいただき、有意義な関係者評価委員会であった。